

主題

連携して診る腎疾患
タイムリーな紹介から患者マネジメントまで

連携して腎疾患を診る時代

市民啓発活動の重要性 慢性腎臓病対策協議会の活動から……………加藤佐和子・安田宜成
CKDの新重症度分類を用いた患者紹介・逆紹介のポイント……………今井圓裕
CKD病診連携パスの利用と教育入院の実際……………八田 告
コメディカルとの連携活動、特定健診をどう利用するか……………赤井靖宏
栄養ケアステーション導入の試み 腎疾患重症化予防のための戦略研究(From-J)の活動から……………甲斐平康・斉藤知栄・山縣邦弘

絶対に見逃してはいけない腎疾患診察のポイント

現病歴と身体所見からわかること……………伊藤孝史
検尿の見方・考え方 尿所見からわかること……………湯村和子
血液検査・尿検査のチェックポイントと新しいバイオマーカー……………森 潔・向山政志・中尾一和
画像検査からわかるようになったこと……………岡田浩一

腎機能を悪化させないために行うべき治療とは

腎疾患治療のストラテジー……大山友香子・藤田芳郎
どの降圧薬で、どれくらい血圧を下げるのか？……………此下忠志・山田実夏・市川麻衣
エリスロポエチン製剤をいつ開始し、どの程度貧血を改善すればよいのか？……栗山 哲・大塚泰史
CKDにみられる高尿酸血症は治療すべきか？……………内田俊也
脂質療法には腎保護作用があるのか？……………木村秀樹・岩野正之
カルシウムとリンはどうコントロールするか？……………CKD-MBDの概念とCKDの進行抑制における注意点……………角田隆俊
軽症CKDの食事指導法のコツとは？……………前田益孝
経口吸着炭は、いつ開始すべきか？……………小西一典・中野 茂・古家大祐

血液浄化療法の選択について、どう説明したらよいのか？……………阿部倫明・清元秀泰
今後期待される新治療法とは？……………平川陽亮・南学正臣

腎疾患の鑑別とマネジメントの要点

本邦腎疾患の最近の傾向 腎生検登録研究(J-RBR)から見えたこと……………横山 仁
急速進行性腎炎・血管炎を見逃さないために……………菊池正雄・藤元昭一
薬物性障害を疑ったら……………井上紘輔・寺田典生
ネフローゼ症候群を疑ったら……………川崎智子・古巢 朗・西野友哉
糖尿病性腎症の病期分類を日常診療でどう考えるか……………遠山直志・古市賢吾・和田隆志
IgA腎症の新重症度分類を日常診療にどう生かすか……………川村哲也

座談会

理想的連携体制の構築のためにどう働きかけるか……………岩野正之・赤井靖宏・八田 告・宮崎正信

連載

手を見て気づく内科疾患
目でみるトレーニング
依頼理由別に考える心臓超音波検査
とりあえずエコーの一步先へ
皮膚科×アレルギー膠原病科
合同カンファレンス
こんなときどうする？内科医のためのリハビリテーションセミナー
医事法の扉 内科編
研修おたく 指導医になる
Festina lente
感染症フェローのシンガポール見聞録

予告

Vol. 49 No. 13 急性心不全への挑戦

Vol. 50 No. 1 進化し続ける内科診療—世界が認めたブレイクスルー